



子規が遺してくれた「たから」を 未来に継承したい！

～松山市立子規記念博物館収蔵資料修復・保存活用寄付～



目標金額

1, 000, 000円

受付期間

令和5年2月13日（月）まで



子規記念博物館が収蔵する資料の保存・活用のための寄付を募集します。

子規記念博物館では、正岡子規をはじめ松山ゆかりの文豪たちが遺した多くの資料を修復しながら保存管理しています。博物館が収蔵する約7万点の資料を適切に保存し活用するためには、多くの費用がかかります。その費用の一部を皆さんに協力をお願いすることで、多くの資料を修復するとともに当館の「子規記念博物館デジタルアーカイブ」に掲載して、皆さんにご利用いただきたいと思います。

寄付いただいた方には「正岡子規が遺してくれた「たから」を未来に継承したい」の協力者として、公式サイト（デジタルアーカイブ）にお名前を掲載（希望者のみ）させていただくとともに、ささやかな特典をお送りします。＊寄付は「寄付金税額控除」の対象となります。また特典は松山市外の方が対象です。

◆ 寄付金の使い方 ◆

収蔵資料の修復費用と、「子規記念博物館デジタルアーカイブ」の維持管理およびコンテンツ充実のための費用の一部に使用させていただきます。

「子規記念博物館デジタルアーカイブ」とは…？

子規記念博物館では、正岡子規の120年忌を記念して、令和3年9月19日に「デジタルアーカイブ」を開設しました。子規に関連する資料をアーカイブ化して、インターネット上で公開することで、多くの人に親しんでいただくとともに、今後の正岡子規研究・近代文学研究にも役立てていただきたいと思います。

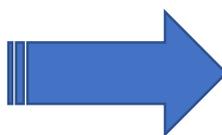


子規記念博物館での収蔵資料の修復と活用の流れ



子規記念博物館の収蔵資料は、江戸時代や明治時代など100年以上前の時代のものが多く、経年劣化による破損など、保存上の問題を抱える資料もあります。こうした資料は、展示などの一般公開が難しいため、専門的な知見と技術により修復を施す必要があります。

当館では、継続的に収蔵資料の修復に取り組むとともに、館内での展示のほか、「デジタルアーカイブ」などを通じて貴重な資料の永続的で幅広い活用を図りたいと考えています。



◆必要な修復を実施した上で、「デジタルアーカイブ」で公開。

【修復前の資料】

- ◆正岡子規が自作の俳句3,000句以上を記した俳句稿。子規の俳句を研究するうえで貴重な資料。
- ◆表紙の擦れや角の折れが発生しており、取扱いに注意を要する。



特典はどんなもの？

※特典は松山市外の方が対象です。

コース	内容	金額	ホームページ 記名
極堂コース	<ul style="list-style-type: none"> 子規記念博物館観覧年間フリーパス（常設展、特別展及び特別企画展） 	1万円～	○
漱石コース	<ul style="list-style-type: none"> 子規記念博物館観覧年間フリーパス（常設展、特別展及び特別企画展） オリジナルグッズ（『子規博物館蔵名品集』もしくは『伝記正岡子規』） 子規記念博物館トートバック 	3万円～	○
子規コース	<ul style="list-style-type: none"> 子規記念博物館観覧年間フリーパス（常設展、特別展及び特別企画展） オリジナルグッズ（『子規博物館蔵名品集』もしくは『伝記正岡子規』） 子規記念博物館トートバック 修復資料説明会への参加 	5万円～	○

ふるさと納税で応援しよう！

子規記念博物館ホームページもしくは「ふるさと納税」サイトへ

寄付のお申し込みは

子規が遺してくれた「だから」を未来へ継承したい！

<https://www.furusato-tax.jp/gcf/1961>

問合せ先 松山市立子規記念博物館 TEL：089-931-5566

<https://shiki-museum.com>